

# ひなたのススメ

宮崎大学MAGAZINE

vol.23 2016

盛り上げる

地域を  
食で



宮崎大学キャラクター  
みやだいもうくん



宮大生の  
気になる子ちゃん

教職員紹介  
前田幸重  
(工学教育研究部工学基礎教育センター 准教授)

サークル紹介 サーフイン部

トピックス

イベントカレンダー

宮崎大学講座レポ  
「朗読で味わいを深める日本文学」



Myaoh.TVキャラクター  
みやおう



## ひなたのススメ

「地元では、地域に人が来て欲しいという思いがあります。教育研究を通して日本人学生や留学生と現地を訪れ、学生達と地域の方との交流を大切にしています。形式だけでは

「食で地域おこしを」と考えたとき、アプローチの仕方はさまざまだろう。新しいお土産品や地域ブランドを開発することも一つだろうし、開発品を全国へ流通・発信することもできる。今回、話を聞いたのは、食品機能学が専門の山崎有美先生。先生の考えるアプローチの方法とは？

「食の持つ機能を『見える化』する」  
「食品の機能には、栄養、嗜好、生体調節の3つがあります。これら機能性の高さは食品にとって重要なアピール要素になります。私達は、食品の中にどういった成分が含ま

色素の有無によるものであることがわかりました。また、青首大根と比較し糸巻き大根は、甘味成分や辛味成分が多いこともわかりました。甘味も刺激もある、大根らしい大根といえます」と研究の成果を明かす。現在は、糸巻きの特徴を生かした、糸巻きの糸巻き大根開発が進んでいる。色を保持できるように実験を重ねた糸巻き大根は、赤やピンクが愛らしく、食卓に並べるのが楽しくなりそうなものだった。



「地元では、地域に人が来て欲しいという思いがあります。教育研究を通して日本人学生や留学生と現地を訪れ、学生達と地域の方との交流を大切にしています。形式だけでは

「食で地域おこしを」と考えたとき、アプローチの仕方はさまざまだろう。新しいお土産品や地域ブランドを開発することも一つだろうし、開発品を全国へ流通・発信することもできる。今回、話を聞いたのは、食品機能学が専門の山崎有美先生。先生の考えるアプローチの方法とは？

「食の持つ機能を『見える化』する」  
「食品の機能には、栄養、嗜好、生体調節の3つがあります。これら機能性の高さは食品にとって重要なアピール要素になります。私達は、食品の中にどういった成分が含ま

色素の有無によるものであることがわかりました。また、青首大根と比較し糸巻き大根は、甘味成分や辛味成分が多いこともわかりました。甘味も刺激もある、大根らしい大根といえます」と研究の成果を明かす。現在は、糸巻きの特徴を生かした、糸巻きの糸巻き大根開発が進んでいる。色を保持できるように実験を重ねた糸巻き大根は、赤やピンクが愛らしく、食卓に並べるのが楽しくなりそうなものだった。

## 地域の伝統野菜にも注目 付加価値をどうアピールするか

### 宮崎の伝統野菜

各地で古くから栽培・利用されてきた品種。地域を制約され、種を取りにくいなどの理由で継承されていない作物も多い。宮崎の伝統野菜の幾つかを紹介。



伊勢芋

直径15cmほどになる親芋用の品種で、普通の里芋よりも粘り気が少なく、甘い香りが広がる。また、きめが細かく、身が締まり煮崩れしにくいのも特徴。糸巻き大根と同様、かつては焼き畑栽培向きの品種として作られていた。神楽に欠かせない煮しめや、芋ずーし(雑炊)などがおすすめ。写真右奥は糸巻き大根のなます。



佐土原なす

旧佐土原藩を中心に栽培が盛んだったため、藩の名前が付けられたといわれる。肉厚で皮が薄く軟らか、種が小さく、繊維が少ないため、焼きなすに最適。暖地での露地栽培に向く品種だが、高温が続くと赤紫色になるため、次第に作られなくなった。2000年に、残っていた種4粒から発芽し復活。



黒皮かぼちゃ

日本かぼちゃの一種。日向かぼちゃとも呼ばれる県を代表する野菜。まろやかな甘みときめ細かな舌ざわりがあり、粘質で軟らかいが煮崩れしにくいのが特徴。宮崎市内で多く栽培され、10月から6月ごろまで出荷される。炊き合わせや中身をくり抜いてグラタン、肉詰めにするなど美味。

ほか、日本種の夏かぼちゃで、瓢箪型の「鶴首かぼちゃ」、漬け菜として利用される現美郷町西郷区立石の「いらかぶ」、小林市東方で栽培される「筍いも(京いも)」、郷土料理・菜豆腐に使われる椎葉村の「平家かぶ」、「在来白皮にがうり」「白なす」などは現在も継承されている。かつて全国的に有名となった「赤江にんじん」は、大規模栽培に不向きだったため、昭和30年代後半には消滅したとされている。

参照：宮崎の野菜史(宮崎の野菜史編集委員会)、47都道府県・地野菜／伝統野菜百科(丸善株式会社)

# 地域を「食」で盛り上げる

生きるために欠かせない、そして多くの人が興味を持つ「食」は、地域おこしにも大切な要素だ。地域ならではの食の魅力を探り、発信していく方法とは？



地域の食の魅力を発掘し、その土地、その素材だからこそそのポイントを見つけ、観光客や消費者にアピールする。食にとっておいしいしさはもちろん重要だが、栄養性や機能性が注目されることも少なくない。宮崎大学に新設された地域資源創成学部では、「食」を基軸として研究から製品化まで、一貫して地域活性化を支援する体制が整った。地域×食の「コラボ」により、これまで以上の価値が宮崎大学から生まれる。

「食で地域おこしを」と考えたとき、アプローチの仕方はさまざまだろう。新しいお土産品や地域ブランドを開発することも一つだろうし、開発品を全国へ流通・発信することもできる。今回、話を聞いたのは、食品機能学が専門の山崎有美先生。先生の考えるアプローチの方法とは？

### 食品の持つ機能を『見える化』する

「食品の機能には、栄養、嗜好、生体調節の3つがあります。これら機能性の高さは食品にとって重要なアピール要素になります。私達は、食品の中にどういった成分が含ま

れ、それが体にどういった影響を及ぼすかを解析し、科学的知見を蓄積しています」。

山崎先生が現在、研究しているのが、地域の伝統野菜。中でも、西米良地域が原産の「糸巻き大根」の機能的な特性を、地域の農家や県職員の方たちと共同で研究しているという。「伝統野菜は同じ株から採れた種から育てても、形も色も形質に差が出る、遺伝的に安定しないものが多いです。糸巻き大根で言うと、可食部が赤色と白色の2系統があります。解析の結果、赤色の成分は高い抗酸化作用を持つアントシアニンの一種で、赤色と白色の違いは、この



糸巻き大根



くま+



Profile  
山崎有美  
【やまさき ゆみ】  
地域資源創成学部 講師  
農学博士  
専門分野は食品機能学





東京出身、8年前から宮崎大学で研究を続ける前田幸重先生の趣味は、スキューバダイビングとフラ。「大島まで潜って潜りますよ。宮崎に来て、フラも始めました。映画「フラガール」を見て、いつか機会があったらやりたいと思っていたんです」。



原子核の研究を始めたのは東京大学の院生時代。大学に入学するころは生物が好きで、獣医の道も考えていた。大学に入学して量子力学を学んだとき、パズル的な面白さを感じ研究者の道へ。「就職の選択肢の一つとして選びましたが、振り返ってみると良かったですね」と話す。現在の研究は、原子核の核子（陽子や中性子）をくっつける力・核力について。ノーベル物理学賞を受賞した湯川秀樹博士によって、中間子という粒子が介在する“二体力”として説明されていたが、人間の“三角関係”と同様、別の第3の核子が重要

## 教職員紹介

な役割を果たすという“三体力”について明らかにしようとしている。実験技術が上がり、研究が進んできた。

目に見えず、日常で感じることのない原子核だが、東日本大震災の福島第一原発事故によって身近な問題となってしまった。宮崎大学でも放射線測定調査に入り、放射線量等分布マップ作成に協力。前田先生は、放射性廃棄物の処理や再利用化について基礎研究を重ねる。「原理としてはできるということ思い描いて、これまでなかったデータを集めていくのは、やりがいがあります」。

## 量子力学のパズル的な面白さに魅かれ 生物好きから原子核の研究へ



宮崎大学  
工学教育研究部  
工学基礎教育センター  
准教授  
**前田 幸重**  
専門分野：素粒子・原子核・宇宙線・宇宙物理

## サークル紹介

### サーフィン部

サーフィン部は1年生8人2年生4人3年生6人の現役生18名、4年生7人の計25名。内4人が女性でマネージャーとして活動しています。部活動内容としては土曜日の朝からが全体練習、それ以外の日は個人での練習を積極的に行っています。部内全員仲良く、楽しくサーフィンしています。また、長期休みは合宿やキャンプなどの行事もやっています。春～秋にかけては宮崎で大会も開催されます。たくさんの部員が大会にも参加し優勝、入賞をしています。宮崎は温暖な気候、全国でも有数の

サーフポイントが点在し、サーフィンをするには全国1位の土地だと思っています。この恵まれた環境でみんなでサーフィンを通して、最高のキャンパスライフを部員みんなで共有している毎日です。是非大学で、サーフトライしてみましよう。

Surfin!



## 01 大学生生活に車は必要だと思いますか?



## 宮大生の気になる子ちゃん

今回のお題は 大学生に必要なこと・もの

**T** みなさんこんにちは。今回は大学生に必要な事柄やものについて、アンケートを行いました。

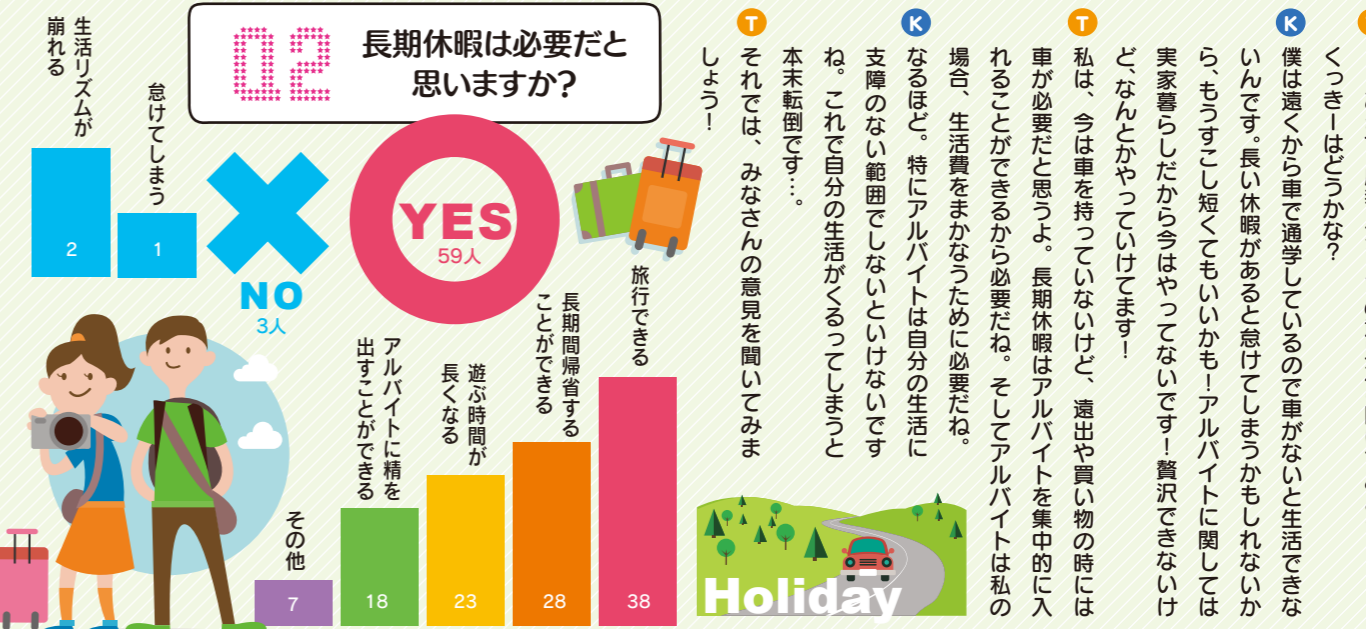
**K** ここでは大学生の特徴ともいえる「車の所持」「長期休暇」「アルバイト」の3点についてみなさんがどう考えているのか聞いてみました。

**T** たちあおい 教育文化学部 3年

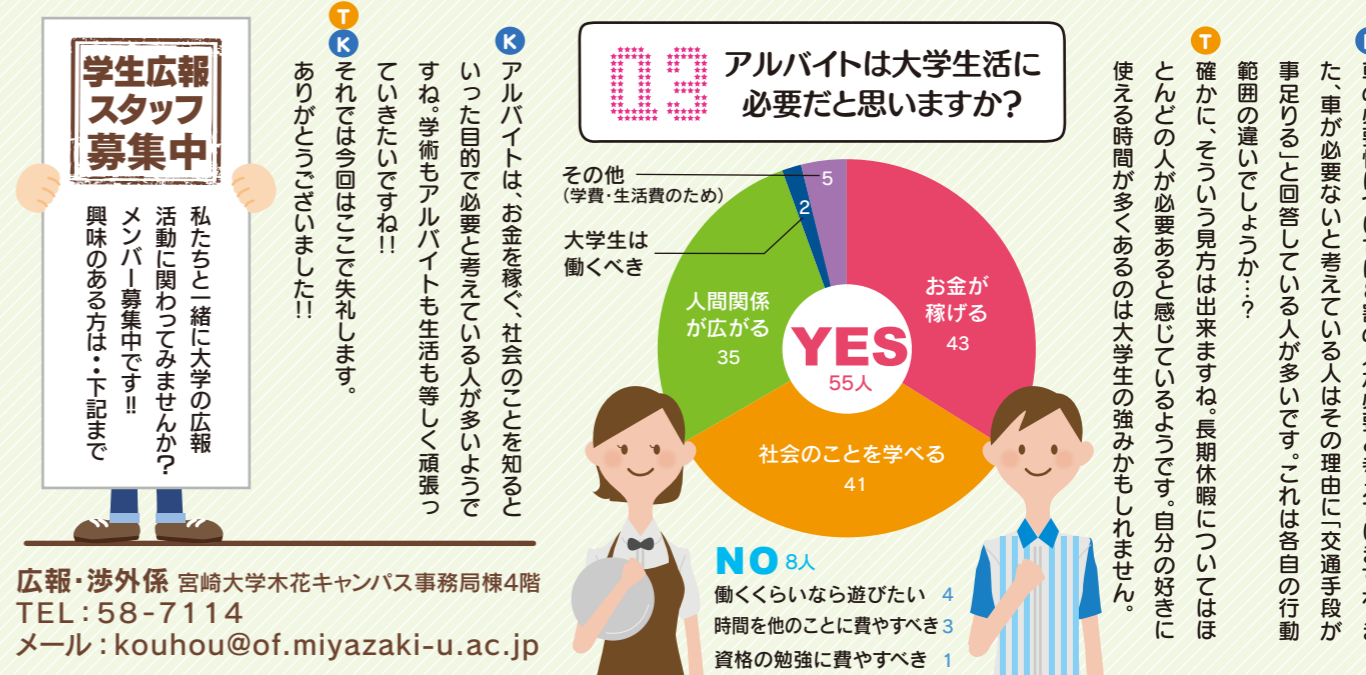
**K** くつきー 教育文化学部 2年

※数字の単位は人数

## 02 長期休暇は必要だと思いますか?



## 03 アルバイトは大学生生活に必要なと思いますか?





# トピックス

## きものdeブラブラの開催



6月22日、留学生が着物を着て木花キャンパス内を巡る「きものdeブラブラ」を開催し、30名ほどの留学生が参加した。

美しい和服を身にまとった留学生は、嬉しそうにポーズを取りカメラにおさまったり、そのままの姿で授業や研究室を訪れるなど、和服姿を満喫していた。日本人学生にとっても、留学生を通して日本の文化に触れ、改めて日本の良さを知る良い機会となった。また、普段留学生と接することの少ない学生・教職員も、和服姿で現れた留学生に少し驚き

つつも、声を掛けるなどして交流を深めていた。本学では初めての試みとなったこの企画は、地域連携・国際連携の拡大や、宮崎県への外国人集客の一助となることを期待して、地元業者および商工会議所と連携して実施した。

参加した学生からは、「とても楽しく良い思い出になった。SNS等で情報発信するなどして、日本と宮崎大学の良さを伝えていきたい。」などといった意見が聞かれ、大いに盛り上がった。



## 地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)キックオフシンポジウム開催

平成28年3月22日(火)、COC+(プラス)事業の共有、今後の事業実施に関する情報交換の場を構築することを目的として、本シンポジウムを開催した。基



調講演では隠岐国学習センターセンター長 豊田様にご講演頂き、その後COC+(プラス)事業の説明や、授業配信システムのデモンストレーションも行った。

休憩時間には、学生による地域に関する課題をテーマとしたポスターセッションと、地域の素材を用いて開発された試作メニューの試食会がそれぞれ行われた。200名以上の方々へ御来場頂き、大変盛り上がりを見せたシンポジウムとなった。

## 宮崎大学船塚ビオトープ美化ボランティア開催

平成28年5月21日、本学船塚ビオトープで池の美化ボランティアを実施。教育学部附属幼稚園に隣接しているこのビオトープは、住宅地の中に自然環境を提供し、また様々な動植物を自然な状態で観察できる施設として地域に開放されている。しかし、敷地内には、池を覆うようにガマが繁茂し、成長すると固い棘ができるメリケンソウが芝生に生えるようになってしまい、管理担当者だけでは整備が追いつかない状態になっていた。今回は、学生と教職員、そして地域の方が集まり、約40名でビオトープ内の池の清掃(ガマの伐採)と敷地内に生えているメリケンソウの除

去を行った。参加してくれた学生や地域の子どもたちが一斉懸命作業し、池の中からカエルやオタマジャクシが見つかることも大喜びしている姿がとても印象的だった。地域にとってこのビオトープが憩いの場や、学びの場となるよう、今後も定期的に活動を続けていきたい。



# トピックス

## トビタテ!留学JAPAN地域人材コースに採択

宮崎県と協同で申請した「トビタテ!留学JAPAN地域人材コース」の採択を受け、平成28年3月29日(火)に採択授与式並びにみやざきグローバル人材育成協議会発足式を宮崎県庁にて執り行った。

本事業では、地域定着型のグローバル人材の育成を目指し、県内の企業や団体からの寄附金を財源に県内学生の海外留学を支援する。また、県内の産学官が連携した「みやざきグローバル人材育成協議会」がプログラムの企画・運営、派遣留学生の募集・選考を実施する。本事業における留学プログラムは、「海外での実践的な留学」と「宮崎県内の企業や県庁でのインターンシップ」を組み合わせた宮崎県独自の留学プログラムであり、平成28年度から3年間、毎年7名の学生が地域でのインターンシップを経て、宮崎地域より海外留学予定である。

支援企業・団体:

一般社団法人宮崎県商工会議所連合会、米良電機産業株式会社、株式会社宮崎銀行、株式会社宮崎太陽銀行、雲海酒造株式会社、宮交ホールディングス株式会社、株式会社宮崎放送、株式会社テレビ宮崎、宮崎ケーブルテレビ株式会社、株式会社坂下組、宮崎ガス株式会社、株式会社光コーポレーション、株式会社千穂の家、株式会社教育情報サービス、株式会社アラタナ、有限会社一平、株式会社くしまアオイファーム(順不同)



## 医学科5年生のチューデント・ドクター(SD)認定証授与式



4月1日(金)、医学部にて医学科5年生へのチューデント・ドクター(Student Doctor: SD)認定証授与式が行われた。

SDとは、全国共通試験であるコンピュータ客観試験(CBT)や客観的臨床能力試験(OSCE)の結果、臨床実習を開始する前に備えておくべき知識・技能・態度を身につけていることが認められた医学生のことである。

丸山真彰医学部長より医学科5年生一人ずつにSD認定証が授与され、その後、医学部長および鯨島浩附属病院長より臨床実習における心構えや学習姿勢についての講話があった。

医学科5年生は、これから約1年半の臨床実習で、医師をはじめとする医療スタッフや患者から、多くのことを学び、吸収して「優れて優しい医師」になることが期待される。



## 地域資源創成学部発足式を開催

4月4日(月)、本年度新設した地域資源創成学部の発足式をシーガイアコンベンションセンターで行い、希望に満ちた元気な第1期生96名、保護者、教員を含め地域資源創成学部誕生を待ち望んでいた行政や経済団体関係者ら総勢約150名が出席した。

地域資源創成学部は、宮崎県内の期待や要望を受け、地域経済の活性化と地域振興に貢献でき、実社会で即戦力となる人材育成を目指して設置された。式の中で池ノ上克学長は「さまざまな関係機関と協力し、県の未来のビジョンを見据えながら教育、研究、社会貢献をしていきたい」と述べた。

同学部の吉田雅彦学部長は「50年先を見据えたとき、本県をはじめさまざまな地域にいる卒業生たちが連携し、地域活性化に貢献しているのが理想である。そのためにも『明るく前向きに仲良く』をモットーにし、地域の発展に貢献する人材のネットワークを構築したい」とあいさつがあった。



## 西都市及び株式会社日南と連携した「西都・妻湯プロジェクト」開始



5月20日(金)、西都市(宮崎県)及び株式会社日南(本社:神奈川県)と連携し、西都市における温泉を活用した地域活性化のための産学・地域連携事業を開始することを発表した。

本学プロジェクトは、「地方創生」という言葉が注目を集める中、株式会社日南が100%出資し、総工費10億円をかけて実施する妻湯温泉開発事業の一環で、観光資源の豊富な同市において、「健康な食、健康な生活につながる温泉の活用」を目指して、本学が持つ高度専門技術を取り入れて実施することとした。

記者会見で橋田和美西都市市長は、「これまでにない素晴らしい施設となる予定で非常に嬉しく思う。特に宮崎大学が研究に関わったことは価値がある。これを機会に通行型観光から周遊滞在型観光を目指し、西都市の活性化につな

げたい」と、強い意気込みを示した。引き続き、堀江代表からは「自分が生まれ育った故郷に貢献したい一心から始めた計画である。本事業に賛同していただいた宮崎大学には感謝するとともに、西都市の発展につなげたい。」と述べられ、最後に國武副学長からは「堀江社長の強い思いに感銘を受けた。地域活性化や雇用の創出につながるような事業としていきたい。」と述べた。

本学では、既に宮崎県をはじめ複数の市町村と連携協定を締結しており、これまで以上に、地域に根ざした連携事業を推進していくとしている。また、平成28年度からは「地域資源創成学部」を新たに設置。理系及び文系を融合させた教育を展開するとともに、活力のある地域を創成できる人材を育成していくこととしている。



## 工学部環境ロボティクス学科4年 木下大輔さん 学長表彰

陸上競技部 木下大輔さん(工学部環境ロボティクス学科4年)が宮崎県より「2015年度優秀選手賞」を授与された。

これは、平成27年10月25日(日)、「2015全国障がい者スポーツ大会」において、車いす100m競争で1位、1,500m競争で第1位(大会新)に入賞した功績によるもので、その栄誉を称え池ノ上学長から、陸上競技部 木下大輔さん(工学部環境ロボティクス学科4年)に表彰状と記念品が授与された。

学長から、今後益々の活躍を期待していると言葉がかけられ、平成27年2月

に続き2度目の表彰に対し木下さんからは、学長をはじめ周囲の皆様の支援、協力に対してのお礼が述べられ、今後はパラリンピック出場を目標にして精進していきたいと決意が述べられた。



# EVENT CALENDAR イベントカレンダー

※日程等は今後変更になることがあります。詳しくはHPをご覧ください。

地域情報サイト「パームスマいぶれ」でも、地域一般の方々を対象とした公開講座や講演会等のイベント情報を発信しています。

地域情報サイト「パームスマいぶれ」<http://miyazaki.mypl.net/>

公開講座 【問合せ先】産学・地域連携課 TEL:0985-58-7188	
<b>医学部公開講座 くらしと医学</b> みなさんは、毎日の暮らしをすやかに過ごしていますか?	<b>日 時</b> 7月25日(月)~7月29日(金)(全5回) <b>場 所</b> JA-AZM(アズム)ホール <b>対 象 者</b> 一般
<b>海外渡航上の留意点</b> ~口蹄疫ウイルスを持ち込まないために~	<b>日 時</b> 7月26日(火) <b>場 所</b> 宮崎大学農学部L205講義室 <b>対 象 者</b> どなたでも参加可能
<b>宮崎大学オープンカレッジ2016</b> ~食と健康編 in 青島・綾~	<b>日 時</b> 10月6日(木)~8日(土) <b>場 所</b> 宮崎大学木花キャンパス <b>対 象 者</b> 一般
<b>日本物理学会 2016年 秋季大会 市民科学講演会</b> 教科書を書きかえる世紀の発見 問合せ先 <a href="mailto:jps-info@cc.miyazaki-u.ac.jp">jps-info@cc.miyazaki-u.ac.jp</a>	ノーベル物理学賞を受賞した「ニュートリノの小さな質量」、および、将来のノーベル物理学賞が確実視される「重力のさざ波」の2つの大発見についてわかりやすくお話しします。 <b>日 時</b> 9月25日(日) <b>場 所</b> シーガイア コンベンションセンター 4F 天璋
<b>宮崎大学第6回CADIC国際シンポジウム</b> アジアの畜産革命 ~そのビジネスチャンスとリスク~ 宮崎大学産業動物防疫リサーチセンター ☎0985-58-7674	CADIC国際シンポジウムでは、アジアでの畜産革命が同地域での畜産業に及ぼす大きなビジネスチャンスやリスクについて話し合います。 <b>日 時</b> 8月23日(火) ※事前の申込が必要 <b>場 所</b> 九州産業大学N204号室

<b>全国大学ビブリオバトル</b> 宮崎大学予選会 附属図書館 資料管理係 ☎0985-58-7146	発表参加者が本を紹介し、聴衆が一番読みたくなった本に投票し、最多票を「チャンプ本」とする知的書評ゲーム。前年は、本学学生が九州地区大会2位に入賞。 <b>日 時</b> 10月頃(2回開催) <b>場 所</b> 図書館本館
<b>きよかさい 清花祭(大学祭)</b> 学生生活支援課 ☎0985-58-7135	<b>日 時</b> 11月18日(金)~20日(日) <b>場 所</b> 木花キャンパス、清武キャンパス
<b>第6回 ホームカミングデイ</b> 宮崎大学同窓会連合会事務局(広報・渉外課) ☎0985-58-7114	卒業生の皆様に「母校宮崎大学」に集い、母校の近況に触れ、懐かしい恩師や学友との交流親睦を深めていただくために、大学が卒業生の皆様をお招きするものです。 <b>日 時</b> 11月19日(土) <b>場 所</b> 木花キャンパス
<b>イブニングセミナー</b> 研究推進課 ☎0985-58-2882	教育・研究の成果を発表するイブニングセミナーを開催しています。 ※詳しくはHPをご覧ください。







平成28年度宮崎大学公開講座

# 「朗読で味わいを深める日本文学」

～声の響き・心の響き～

第1回 伊勢物語を読む  
男女の心の響き



## 声の響きで歌の味わいがさらに広がる

6月4日「朗読で味わいを深める日本文学」の講座初回に参加しました。専門分野は国語教育、和漢比較文学という中村佳文先生が3年前から開講。既に3年通うファンもいます。昨年は「走れメロス」や「徒然草」を味わったそうです。ゲストも豪華。落語家や女優などプロから学べるのも魅力の講座です。この日の作品「伊勢物語」は、ある男の

一代記。在原業平の歌が多く採録されています。「むかし、男ありけり」で始まる文章を思い出す人も多いのでは? まず、文章の意味を教わります。「歌は上の句と下の句をどこで切るかによって、意味合いが変わってきますよ」と中村先生。声に出して読むことで、歌の味わいもまた広がっていきました。



「伊勢物語」をそれぞれのペースで朗読します。平安時代、女御たちは絵巻を見ながら、物語を読んでもらっていたのだとか。そんな時代を想像しながら読んでいきます

伊勢物語



ゼミ生がお手伝い＆参加しています  
倉永さんと吉岐さん

「朗読」は、表現して伝えるものです!



中村佳文先生  
(教育学部准教授)

感想

学生時代には感じなかった古典文学の面白さに、目から鱗です  
初年度から参加の永野欣子さん

声を出すのが気持ちよかったです。伊勢物語って面白いですね。  
初参加のライターK

### 今後の内容

8月6日(土)・7日(日) 18:00開演

夏空に響け! 夢物語(小中高大生一般参加型「星の王子様」公開群読劇)  
会場: 宮交ボタニックガーデン青島※観覧無料、公開講座には含まれません  
ゲスト講師: 下館あい氏(女優)・下館直樹氏(ギタリスト)

第3回 11月19日(土) 予定

古典落語の響き(宮大寄席)  
ゲスト講師: 金原享馬治氏(落語家)  
※日程が決まり次第HPでお知らせします

第4回 12月3日(土)

小説&絵本の響き(予定)  
ゲスト講師: 下館あい氏・下館直樹氏

第5回 12月17日(土)

百人一首の響き(ちはやふるの解説本を読む)  
ゲスト講師: あんの秀子氏(「ちはやふる」公式和歌ガイドブック著者)



- 時間: 13:30~16:30
- 会場: 宮崎大学附属図書館視聴覚室(3階)
- 受講料: 1講座800円
- 定員: 50名
- 申込先: 宮崎大学 産学・地域連携課  
TEL0985-58-7188 FAX58-7793  
(受付時間 平日9:00~16:00)  
e-mail m-chiiki@of.miyazaki-u.ac.jp
- 締切: 各講座の3日前  
(受講料も3日前までにお振り込みが必要)

ほか、さまざまな講座についてはイベントカレンダーをチェック  
<http://www.miyazaki-u.ac.jp/event-calendar>

## 募集 「宮崎大学オープンカレッジ2016 ~食と健康編 in 青島・綾~」

申込締切  
8月31日(水)



本年度は「食と健康」をテーマに、宮崎大学キャンパス・綾・青島をメイン会場に学術的な視点からみやざきの食と健康を知ることのできるプログラムとなっております。ウェルカムパーティー(10/6夕食)には池ノ上克宮崎大学長も出席するほか、参加者には「綾特産品詰め合わせ」や「宮崎大学オリジナル文房具セット」もプレゼントします。旅行気分での参加も大歓迎です。

詳細は宮崎大学HPを!

「宮崎大学オープンカレッジ2016」で検索、またはQRコードで読み取り→



【プログラム】 ※一部抜粋しております。

【参加費】 30,000円(税込み)

【定員】 30名

※10月8日午前中までのプログラム経費および10月6日夕食、10月7日昼食込み

※定員(30人)に達し次第、募集を締め切らせていただきます。

【申込・問合せ】

産学・地域連携課

TEL:0985-

58-7188

※写真はイメージです



青島イメージ



宮崎大学文房具セット



綾特産品詰め合わせ

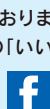
### 宮崎大学メールマガジン

毎月1回、イベント情報や最新ニュースなどを紹介するメールマガジンを無料配信しております。登録方法はホームページをご覧ください。



### 宮崎大学 facebook

大学公式のページを公開しております。みなさんからのたくさんの「いいね!」をお待ちしております。



### 宮崎大学公式YouTubeチャンネル

宮崎大学インターネット放送局 Myaoh.TVをYouTubeに配信しています。チェックしてください。



宮崎大学広報誌『宮崎大学MAGAZINE』2016 vol.23 [発行日] 平成28年7月29日

<http://www.miyazaki-u.ac.jp/>

[編集発行] 国立大学法人宮崎大学 広報企画室 〒889-2192 宮崎市学園木花台西1丁目1番地 (0985) 58-7114

[印刷] 北一株式会社

本誌を読んだのご感想などご自由にメールでお寄せ下さい。✉ [kouhou@of.miyazaki-u.ac.jp](mailto:kouhou@of.miyazaki-u.ac.jp)

\*この宮崎大学MAGAZINEは、一般の方を対象に宮崎県庁や県内の各市町村役場、図書館、道の駅、銀行などで配布しています。バックナンバーは本学ホームページをご覧ください。



宮崎大学HP



大豆油を主成分としたインキを使用しています



古紙配合率100%再生紙を使用しています

\*本誌掲載の記事・写真・イラスト・ロゴ等の無断転載を禁じます。